議会だより

ゆりはま

令和８年
９月定例会

第91号

10月31日発行



「祭りを次の世代へ」湊神社例大祭（関連記事は裏表紙）

CONTENTS

02　成果を見極め着実な一歩を
06　温泉熱で果物産業発展へ
11　意見交換会を開催
19　読者アンケート結果発表

見極め
着実な一歩を

歳出決算額

一般会計　113億　888万円
特別会計　40億1,780万円



商品開発に町内の店舗や町民が関わる機会を増やし、町の特産品としての意識を行政・町民とが協働して育むことが長期的な商品展開につながるのではないか。



返礼品の数量不足により納税額が大幅に減少した。収入の安定化に向け、梨狩り体験や宿泊との組み合わせや、梨シーズン以外の返礼品の充実も進めてほしい。



子どもたちがルールを守り、安全に過ごせる環境を確保するため、運営会社と連携して、自主学習にも取り組みやすい環境整備に取り組んではどうか。



不登校の増加は学習機会の減少や学力低下につながる可能性があり、本町の実態を丁寧に分析し、地域特性を踏まえた対策を進めてほしい。

耳を傾け、適切な取組を



代表監査委員　重松 雅文

令和7年度一般会計決算は、大型事業の完了やふるさと納税寄附金の減少などにより、歳入・歳出とも前年度を下回った。一方、人件費、物件費、補助費などの経常的経費は、7・8％増加した。

※経常収支比率は91・5％と依然高い水準にあるものの、その他の財政指標から、概ね堅実な財政運営が確保されている。

財政調整基金は、22億7600万円となっており、不測の事態や将来の財政負担に備え、適正な残高の確保・維持と運用ルールの検討が必要である。

今後も経費節減、起債の繰上償還、有利な財源の活用など

令和７年度
決算認定

成果を課題解決へ

９月定例会は、15 日から 29 日までの 15 日間の会期で開催しました。９月定例会は「決算議会」と言われており、決算審査特別委員会を設置し前年度の決算審査を重点的に行ないます。こちらでは、決算審査特別委員会で確認した主な内容や議員の視点をお届けします。

知っておきたい！ 決算のこと

町のお金がどのように使われ、どんな成果・課題があったのかを確認し、次のまちづくりにつなげるのが決算審査です。

予算から決算までの流れ

①予算成立

～まちづくりの計画を決定～

住民の暮らしを支えるため、１年間の事業内容や必要な費用を決め、まちづくりの計画を立てます。

②事業執行

～計画をカタチにする～

計画した事業を実施し、住民の暮らしを支えるための様々な取組を進めます。

③決算審査

～成果と課題を確認する～

１年間の事業やお金の使い方を振り返り、成果や課題を確認して、次のまちづくりや取組につなげます。



防護柵や電気柵の設置では有害鳥獣被害の軽減には限界がある。個体数削減に向けて、鳥獣被害対策実施隊の若返りと人員確保を早めに進めてほしい。



整備した遊具が使用できない実態があった。現場の状況を十分に把握し、実態に即して計画的に遊具整備を進めてほしい。

監査委員の意見（抜粋） 町民の意見に

に努めるとともに、防災訓練、旧北溟中学校跡地活用、子育て、上下水道、福祉、教育など、各課の課題について町民や関係機関の意見を聴き、議会への説明を行ないながら適切に取り組むこと。

※経常収支比率
町の家計のゆとりを示す数字。率が高くなるほど固定費が増え、自由に使えるお金が少なくなることを表している。

９月定例会 一般会計補正予算
３億５０万円を追加

９月定例会に提案された 31 件の議案を慎重に審議し、すべての議案を可決しました。
また、議員発議による国に提出する意見書２件を原案のとおり可決しました。

子育て

温泉施設で リフレッシュ

185 万円

町内温泉施設を利用した産後ケアサービスを新たに実施し、入浴と食事と休息で、お母さんはリフレッシュ。好評につき予算を増額した。



産後ケアサービスでリフレッシュ

子育て

子どもの遊び場 拡充へ

70 万円

キッズスペースを設置・整備する自治会に整備費用（おもちゃ・絵本・スポーツ用品など）を補助。子どもの遊び場・交流スペースの拡充を図る。

子育て

子育て世帯を支援

1,524 万円

物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援し、子どもたちの健やかな成長を応援するため、高校３年生までの子ども１人あたり５千円を支給する。

12月議会定例会日程（予定）

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは町ホームページをご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
11/29	30	12/1 常任委員会	2 常任委員会	3	4 本会議（初日）	5
6	7 本会議(一般質問)	8 本会議(一般質問)	9	10 常任委員会	11 常任委員会	12
13	14	15 本会議（最終日）	16	17	18	19

暮らしに寄り添う支援へ

主な動きをチェック

暮らし

バリアフリーへ支援

39万円

地域住民の利便性向上を目的として、申請を受けた地域集会所などのバリアフリー改修費の３分の２（上限66万円）を助成する。



車いす対応のスロープを設置
（上浅津集会所）

暮らし

キャッシュレスで利便性向上

64万円

地方税共同機構が運営するeLTAXを通じて、スマートフォンなどによる電子納付を推進し、納税者の利便性向上と収納事務の効率化を図る。

景観

東郷湖周辺の景観保全

100万円

東郷湖周辺の森林機能や景観の保全により産業振興を図るため、森林環境譲与税を活用して旧ふじつ荘周辺の竹林伐採を実施する。

議会を傍聴してみませんか？

議会の傍聴は、町政の動きを知る身近な機会です。

本会議では、町の課題や施策について議員と町執行部（町長や教育長など）が議論しています。どなたでも傍聴できますので、ぜひ議場でご覧ください。



総務産業・教育民生常任委員会で町から事業説明を受け議論した、主な内容を紹介します。

ここに注目

温泉熱で果物産業発展へ

☆果物産業の発展に向け、東郷の温泉熱を活用した大型ハウスを整備し、公設民営方式で入植者の負担を抑えつつ、雇用創出や新規就農者の確保、観光振興、地域経済の活性化を図る。



大型ハウスの完成イメージ図

問 大雨による東郷池の氾濫の影響があるため、場所を再検討すべきでは。

答 氾濫防止の排水設備、温泉配管の整備を考慮し、決定した。

問 町として施設縮減を進める中、維持費がかかる施設整備は難しいのでは。

答 財政負担はあるが、新産業創出への投資としてリスクを検証する。

問 持続可能な運営に向けたブランドの認知を拡大する方策は。

答 ネット販売やふるさと納税、時期をずらした販売などで認知度を高める。

水明荘ランチバイキング実施

・水明荘の上半期収益は前年・目標ともに下回った。
・休憩利用の団体が少人数化したため、少人数でも利用しやすい企画などで、集客の改善を図る。

問 具体的にどのような対策を行なうのか。

答 秋冬企画の早期告知や、少人数向け会食プラン、11月末までの土日祝日にランチバイキングを実施する。



水明荘ランチバイキング
（詳細はＱＲコードから）

ここに注目

生成ＡＩ 役場の仕事どう変わる

☆役場業務で生成ＡＩの本格運用が8月から始まった。職員２０８名が研修を受け、8月15日までの15日間で５０７件、8月末には2千件以上の利用があった。利用ガイドラインも問題なく守られている。



生成ＡＩで業務効率化

問 生成ＡＩを利用する職員は増えているか。

答 他の職員の利用効果を見て、全庁的に生成ＡＩを利用する職員が増えている。

問 具体的に、どのような業務が効率化したのか。

答 広報誌の誤字脱字確認が半日から約1時間に短縮されるなど、業務効率化が進んでいる。

問 生成ＡＩを使ったチラシなどは、他町と似たものにならないか。

答 その可能性もあるため、本町らしさを表現する工夫やスキルが重要。

運営事業者を募集

- 潮風の丘とまりにある「海鮮バーベキューハウス」の利用形態を飲食一般へ変更する。
- 公募型プロポーザルを実施し、運営事業者を募集する。

問 町としては新たな整備は必要ないのか。

答 内装は入居者が改修する。建物に問題があれば町が行なうが、現状では問題はない。



にぎわい創出へ有効利用
（潮風の丘とまり 海鮮バーベキューハウス）

ここに注目

指定ごみ袋販売再開 今後の安定確保へ

☆指定ごみ袋は9月11日に令和8年度発注分全量の納入が完了し、9月末以降、販売店で順次販売が再開。指定ごみ袋以外の袋でも収集する臨時措置は、10月末で終了する。
今後は在庫不足を起こさないよう、数か月～半年分程度の在庫を確保する。



ごみを回収する収集業者

問 9月補正予算の目的は。

答 従来の在庫を持たない契約形態がごみ袋不足の原因となったため、半年分の在庫確保が目的。

問 安定確保に向けた、今後の再発防止策は。

答 再発防止、リスク分散の観点から、複数事業者への分散発注や長期契約を検討する。

問 「ゆりはまヘルシーくらぶ」会員へのごみ袋引き換えの案内は。

答 会員には10月から順次案内する。

保護者負担軽減と透明化を図る



- 学校給食費の公会計化により、会計の透明化や不正防止、未納者への適正な徴収を促進する。
- 口座振替手数料の町負担化など、保護者の負担軽減を図る。

問 公会計化による、保護者側の具体的なメリットは。

答 口座振替手数料が町負担となり、返金も指定口座振込となるため利便性が向上する。



みんなで楽しく学校給食（泊小学校）

ここに注目

遊び場整備に補助金創設

☆子どもの遊び場整備は、既存施設の活用と情報発信を、子育て支援課が中心となって進める。
　自治会集会所の遊び場整備の経費については、おもちゃ、絵本などの購入費用として3万円を上限に補助する。



中央公民館泊分館のキッズスペース

問 子どもが遊べる場所を、分かりやすく示せないか。

答 利用できる施設を整理しホームページで情報を公開する。

問 雨天時などに子どもが遊べるよう、体育館を開放できないか。

答 担当課に伝え、検討する。

問 自治会集会所の活用には、自治会の理解と協力が重要ではないか。

答 区長会などで制度の趣旨や目的を丁寧に説明し、自治会の運用を尊重しながら、理解と協力を求める。

遠方分娩施設への交通費を補助

・遠方の医療施設でなければ健診や出産ができない場合、移動に係る交通費の８割を補助し、経済的負担の軽減を図る。



問 ４月に遡って適用されるが、対象者の数は。

答 鳥大医学部附属病院での健診と分娩が２人。１人分の追加を見込み、合計３人分の予算を確保する。



安心できる出産環境を

議案審議結果

※議案（陳情）に対する表決・・・（○：賛成　×：反対　欠：欠席　棄：棄権）
※議案の採決は、磯江議長を除く11人で行ないます。
※下記以外の29議案は、全会一致で可決しました。

議　案　名	光井　哲治	小川　遊	河田　洋一	増井　久美	小泉かさね	森　哲也	米田　強美	浜中　武仁	南　克憲	三谷　侑生	松岡　昭博	議決結果
町長提出議案												
湯梨浜町公共下水道条例等の一部を改正する条例について	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
湯梨浜町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願・陳情												
個人情報保護法改正に反対する意見書の提出について（陳情）	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	不採択

請願・陳情審査

常任委員会に付託した請願・陳情は、慎重に審査を行ない、次のとおり決定しました。

件　　名	採決結果	委員会の意見
mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書	不採択	・安全性、有効性の結論は示せない。 ・ワクチン接種は強制ではなく、個人の意思に基づき判断するものである。
個人情報保護法改正に反対する意見書の提出について（陳情）	不採択	・法案は既に国会で成立し、公布されている。 ・一定の違反行為について、既に罰則が規定されている。
いわゆるスポットワークに係る労働者保護体制の整備について（陳情）	採　択	趣旨、願意は妥当と認める。 （国に意見書を送付）
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	採　択	趣旨、願意は妥当と認める。 （国に意見書を送付）

こども園運営調査特別委員会を設置しました

少子化が進む中で、将来を見据えたこども園のあり方や、安心して子どもを預けられる環境づくりについて調査・研究を行なうため、特別委員会を設置しました。

主な調査・研究内容

1. あさひ・わかばこども園の統廃合について
2. ながせこども園の管理運営について

開催日程は議会ホームページに随意掲載します。最新の日程はこちらからご確認ください。

議会HP

ふれあい意見交換会を開催します

～議会とみなさんとでこれからの湯梨浜町を考えてみませんか？～

湯梨浜町議会では、町民のみなさんの声を議会活動に生かすため「ふれあい意見交換会」を開催します。

今回は新たな取組として「ふれあいトーク」も開催し、議員がみなさんとテーマごとに語り合います。

暮らしのこと、まちのこと、未来のこと。
みなさんの声をぜひお聞かせください。



日　時	会　場	内　容
11月18日（水） 19：00～20：30	中央公民館泊分館 2階 多目的室	①議会からの報告 ・防災について ・子どもの遊び場整備について ・こども園運営調査特別委員会について など ②みなさんとの意見交換 ・議会、町政に対するご意見、提言などをお聞かせください。 ✓当日資料は、近日中に町HPに掲載します。
11月20日（金） 19：00～20：30	中央公民館 2階 第１・２会議室	
11月29日（日） 13：30～15：00	ハワイアロハホール 集会室	

初開催 ふれあいトーク

ふれあいトークとは？

４つのテーマに分かれて、議員とみなさんで雑談形式で自由にお話しする企画です。

日　時	会　場	内　容
11月29日（日） 15：45～17：00	ハワイアロハホール 集会室	①総務分野･･･防災、まちづくり など ②産業分野･･･農業、商工業、観光 など ③教育分野･･･学校、社会教育 など ④民生分野･･･子育て、健康づくり など ✓お好きなテーマにご参加ください。 ✓議会としてではなく、各議員個人の意見として発言します。

事前申込不要 参加無料　途中参加・途中退出OK　コーヒー・お茶をご用意しています　キッズスペースあります

【お問い合わせ】湯梨浜町議会事務局
☎0858-35-5341　✉ygikai@yurihama.jp

詳しくは町ホームページをご覧ください▶

町政をただす

一般質問とは、議員が町政の課題や今後の取組について質問し、町長や教育長の考えを聞く場です。
９月定例会では９人の議員が一般質問を行ない、活発な議論を交わしました。

質問者	質　問　事　項	ページ
浜中　武仁	・６期目の重点施策は	12
南　克憲	・児童生徒に対する防犯対策は	13
三谷　侑生	・湯梨浜中学校の教育改善を	13
松岡　昭博	・ウェルビーイングな町とは ・スマートシュリンクの位置づけは	14
小泉かさね	・学力向上に向けたICT教育の最適化は	15
小川　遊	・人口減少時代の町政へ	15
森　哲也	・島根原発のリスクを知る機会を ・松崎駅舎を巡る協議の場を	16
増井　久美	・今後の町政の方向性は ・避難所にエアコン設置を	17
米田　強美	・新規就農者の確保を	18

６期目の重点施策は

町長　地域資源を生かしたまちづくりを推進



はまなか　たけとし
浜中　武仁議員

重点施策の方向性は

浜中　「町の強いところを伸ばし、弱いところを補いながら未来を創る」という考えを踏まえ、第５次総合計画の推進において、重点的に取り組む施策は。

町長　東郷池、温泉、梨などの地域資源や子育て、教育、健康づくりの強みを生かし、住まいや雇用、農業・観光振興、ＤＸ化などに取り組み、持続可能で町民満足度の高い行政運営を行なう。



重要な地域資源「町特産品の梨」

課題への対応と展望は

浜中　人口減少や地域コミュニティ、農業・観光、防災などの課題への取組と、温泉熱を活用した農業の６次産業化構想の実現に向けた取組状況は。

町長　人口減少を前提に、若い世代が「住みたい」「帰りたい」と思える環境づくりや地域で支え合う仕組みを進める。温泉熱を活用した農業６次産業化は、投資額や事業効果を検証する。

将来世代への継承は

浜中　これまで培われてきた施策やまちづくりの理念を踏まえ、町政の継続性を確保し、将来世代へどう引き継いでいくのか。

町長　「湯梨浜はひとつ」の理念のもと、町民との協働を大切にし、次の世代へつなぐ町政運営に取り組む。

児童生徒に対する防犯対策は



教育長　安全な通学環境を整備

みなみ　かつのり
南　克憲議員

登下校時の安全対策は

南　児童生徒の登下校時・放課後における不審者対策や防犯教育、特に小学校低学年などの単独行動時の危険性に触れ、登下校時の避難体制や見守りボランティアとの連携状況、放課後・休日における地域や家庭との安全対策の共有は。

教育長　不審者対応訓練や「いかのおすし」の指導、防犯ブザーの配布、「こどもかけこみ１１０番」などの取組を進めている。見守りボランティアや保護者への情報共有を行ない、安全な通学環境づくりに取り組む。

防犯対策の整備方針は

南　犯罪被害を防ぐための防犯カメラや街路灯などのハード面整備と、防犯教育といったソフト面の両整備に関する今後の見解と取組方針は。

町長　防犯カメラは安全性を高める設備として必要性や設置場所を検討する。

　街路灯や防犯灯についても、要望に応じて現地確認を行ない、適切に対応する。

教育長　不審者対応訓練などの防犯教育と、通学路の安全点検や関係機関との合同点検による環境整備を進める。



複数人で下校する小学生児童

湯梨浜中学校の教育改善を



みたに　ゆうき
三谷　侑生議員

教育長　学習環境の改善を進める



町立湯梨浜中学校

学習環境の整備を

三谷　現在、同校では、授業中に生徒による私語や離室などが頻繁に起きており、授業に集中できる環境が十分に確保されていない状況がある。学習環境の整備にどのように取り組んでいくのか。

教育長　授業中の私語や離室などは課題と認識している。二者懇談や生徒支援員・教育相談員の配置、家庭・地域との連携により、落ち着いた学習環境づくりを進める。

教員体制の確保を

三谷　同校では、年度途中の退職などにより教員の不足も生じている。どのようにして教員体制を確保していくのか。

教育長　教員不足は全国的な課題である。県教育委員会へ代員配置を要請しており、引き続き教員確保に取り組んでいく。

学力向上に向けて

三谷　全国学力・学習状況調査の結果をどう受け止めるか。また、生徒一人ひとりの学ぶ意欲や主体的に学ぶ力をどのように高め、学力の向上を図っていくのか。

教育長　学力調査結果を分析し改善を進める。また、生徒の学ぶ意欲や主体的に学ぶ力を育む授業づくり、教師の指導力向上に取り組んでいく。

ウェルビーイングな町とは



町長　幸福を実感できる町

まつおか　あきひろ
松岡　昭博議員

町の将来像と施策展開は

松岡　ウェルビーイングな町とは、具体的にどのような姿を描いているのか。その実現に向け、今後どのような施策を展開するのか。

町長　町民一人ひとりが幸福を感じ、将来にわたり住み続けたいと思えるまちづくりを進める。健康、福祉、子育て、教育、産業など幅広い分野で取組を進める。

ファミリーセンター整備

松岡　こども家庭センターを核に、保健・福祉・医療・相談・遊び場などを一体化し、誰もが気軽に利用できるファミリーセンター機能を整備してはどうか。

町長　こども家庭センターを中心に相談支援や関係機関との連携体制を整備し、既存の支援機能を生かした充実に努める。



役場内にある「こども家庭センター相談室」

教育計画への反映は

松岡　ウェルビーイングは第４次教育計画にどう反映され、以前の計画に比べ、学校経営・運営や子どもたちの育成方針がどのように変わったのか。

教育長　ウェルビーイングを教育活動全体の基盤に位置づけ、信頼関係の強化や学校風土の向上を図り、子どもたちのより良い学びと育ちを推進していく。

スマートシュリンクの位置づけは

町長　行政運営の「再構築」と捉える

人口減少への対応は

松岡　人口減少時代におけるスマートシュリンク（賢い縮小）を、本町ではどのように位置づけているのか。

町長　スマートシュリンクを単なる縮小ではなく、限られた人材や財源を効果的に活用し、必要な行政サービスや暮らしの質を維持する「再構築」と捉えて進める。

公共施設の評価は

松岡　公共施設の統廃合にあたり、住民サービスや生活の質、地域コミュニティへの影響を総合的に評価する仕組みはあるのか。

町長　施設の統廃合は、維持管理経費や利用状況などを踏まえ、住民説明会やパブリックコメントなどを通じて合意形成を図りながら検討する。



荒廃が進む町有未利用施設

未利用施設の管理を

松岡　町有未利用施設については、住民の安全確保を最優先に適切な管理を行なうべきである。解体の有利な財源が確保できない場合でも、管理が困難な場合は解体を検討すべきではないのか。

町長　未利用施設は日常的な点検・安全管理を行ない、危険が生じる場合は早期対応するとともに、財政状況も踏まえ必要な対策を進める。

学力向上に向けたＩＣＴ教育の最適化は



教育長　効果的な活用を進める

こいずみ
小泉　かさね議員

ＩＣＴ活用のリスク管理

小泉　先進国スウェーデンは学力低下に伴い、ＩＣＴ教育からアナログ回帰へ転じた。多額の予算を投じた本町では学力低下が課題となっている。ＩＣＴ教育が学力に及ぼす影響を問う。客観的データに基づく、ＩＣＴ活用の学力向上への影響評価は。

教育長　ＩＣＴ活用と学力向上との明確な関連性は確認できていない。一方、児童生徒からはタブレット学習への肯定的な評価もあり、効果的な活用を進める。



デジタルと紙、明確な使い分け基準を

ＩＣＴ活用のリスク管理

小泉　健康や能力面など、多様なデメリットに対するリスク管理体制は。

教育長　健康面や情報モラルへの指導を行ない、家庭と連携して適切なＩＣＴ活用を進める。

教員の指導力向上は

小泉　「効果的な指導」に向けた教員のスキルアップと課題は。

教育長　ＩＣＴ教育連絡協議会で活用事例を共有し、教員支援を行なう。効果的な活用と情報活用能力の向上が課題である。

ＩＣＴ教育の今後の方針

小泉　本町の学力向上に向けた今後のＩＣＴ教育の最適化方針は。

教育長　児童生徒の実態や次期学習指導要領を踏まえ、学力向上につながるＩＣＴ活用を進める。

人口減少時代の町政へ



おがわ　ゆう
小川　遊議員

町長　持続可能な町政運営に取り組む



人口減少対策の評価は

小川　移住定住、子育て支援、雇用・産業振興など、これまで取り組んできた人口減少対策の成果と課題をどう評価しているか。

町長　移住定住や子育て支援などにより、社会減の抑制に一定の成果があった。一方、自然減や担い手不足などの課題があり、引き続き取組を進める。

資源配分の考え方は

小川　人口減少を前提に、公共施設やインフラ、事務事業を見直し、限られた人材・財源をどう重点配分していくのか。

町長　人口減少や財政制約を踏まえ、公共施設の集約・複合化、事務事業の見直し、デジタル活用などにより、持続可能な町政運営を進める。

地域経済の成長

小川　人口だけでなく、一人当たりの所得や域外から稼ぐ力、地域内経済循環などを政策成果の指標とし、地域経済をどう伸ばしていくのか。

町長　人口だけでなく所得や域外から稼ぐ力も重視し、地域資源の活用、事業者支援、６次産業化や観光振興により地域経済の発展を図る。

島根原発のリスクを知る機会を

町長　原子力災害への備えを進める



森（もり）　哲也（てつや）議員

原発事故の影響認識は

森　中国電力の島根原発プルサーマル計画に対し、万一の事故が発生した場合、湯梨浜町にも放射性物質が到達する潜在的リスクがある。事故時の町民の暮らしや、農漁業など基幹産業・風評被害への影響の認識は。

町長　原子力災害では、避難所運営や生活物資、医療・福祉体制など町民生活への影響が想定される。また、農業や観光業への影響、風評被害による地域経済への影響も懸念されるため、情報収集と防災対策に努める。



未だキノコや山菜を食べられない森
（福島県飯舘村の森にて）

被災経験学習と安全対策

森　原発事故は地域の分断や深刻な被害を長期化させる。本当の教訓とは、技術対策だけでなくこうした実態を認識することである。被災者の経験を学ぶ機会が必要であり、万一に備えて安全協定の締結も求める。

町長　町民が計画内容や安全対策について理解し、自分で考え判断できる環境づくりが重要である。今後、県の取組や町民の関心を踏まえ、情報提供や防災対策の充実に努める。

松崎駅舎を巡る協議の場を

町長　対話を重ねながら進める



高い関心を示す町民（松崎駅駅舎内）

駅舎見直しの条件は

森　現在、ＪＲから町に対して、駅舎のシンプル化や、場合によっては駅舎・土地の譲渡という選択肢も示されている。どのような条件を示されているのか。

町長　ＪＲからは駅舎の縮小・見直し方針が示されている。町の希望に沿った設計も可能であり、譲渡の場合は維持管理や費用面を含め検討する。

三者対話の場づくりを

森　まずは町民、行政、ＪＲのそれぞれの課題・願いを同じテーブルに並べることが大切。三者が対話できる場を設定することを希望する。

町長　地域や関係機関が課題や思いを共有し、話し合うことは重要である。必要に応じて町民・行政・ＪＲの対話の場づくりを進める。

住民参画の仕組み構築を

森　町民の主体的活動に対し、意思決定プロセスを公開する住民参画の仕組みが必要。松崎駅の協議をその実践例としたいが、町長の考えは。

町長　町民と行政がともに考える仕組みづくりを進め、提案や思いを丁寧に受け止め、対話を重ねながらまちづくりを進める。

今後の町政の方向性は



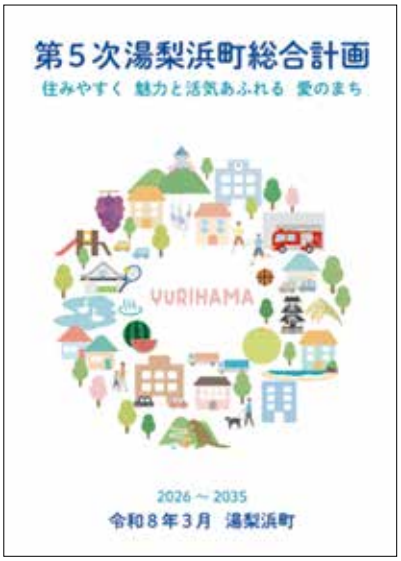
町長　安心して暮らせる町を実現

増井（ますい）　久美（くみ）議員

子育て支援の方向性は

増井　本町は合併して以来「子育ての町」として、さまざまな支援策を推進してきた。中部圏内でも子どもの多い町だと思っている。しかし、人口減少に入った今、新たな施策が必要だと思う。これからの子育て支援策をどう進めるのか。

町長　これまでの子育て支援を継承・発展させ、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援、教育・保育環境の充実、相談支援などに取り組み、安心して子育てできる環境づくりを進める。



農業後継者の確保は

増井　農林漁業者は高齢化が進み、後継者づくりは喫緊の課題である。どういった施策を取っていくのか。

町長　担い手確保・育成や農地利用集積を進め、新規就農者や農業者への支援、スマート農業の導入などに取り組む。

中小企業への支援策は

増井　本町を支えている中小企業、個人事業主をどう支援していくのか。

町長　創業、事業拡大、販路開拓を支援するとともに、事業承継、人材確保、生産性向上に向けた取組を進める。

避難所にエアコン設置を

町長　避難所の空調環境整備を進める

避難所の空調整備は

増井　令和８年熊本地震が発生し、猛暑の中、避難所にエアコンがないという問題が指摘された。

　本町で、避難所に指定されている小中学校にエアコンは設置されているか。されていないところがあれば、早急に対処すべきである。

教育長　指定避難所である町立学校体育館は全て空調設備が未整備である。現在、基本設計を行ない、早期整備に向け検討を進めている。



羽合小学校体育館

指定避難所の空調状況は

増井　学校以外の指定避難所にエアコンは設置されているか。

町長　小中学校以外の指定避難所15か所では、エアコン設置9か所、一部設置2か所、未設置4か所であり、未設置施設にはスポットクーラーなどを活用する。

設置補助制度の検討を

増井　本町のエアコン設置率はどれくらいか。生活保護世帯・低所得世帯へのエアコン設置補助制度をつくっては。

町長　家庭用エアコン設置状況の調査は実施していない。生活保護開始時の購入費支給などを行ない、必要な世帯への支援を検討する。

新規就農者の確保を



町長　入植しやすい環境を整備

よねだ　つよみ
米田　強美議員

担い手の確保に向けて

米田　高齢化と後継者不足により生産者が減少。課題解決に向けた取組と将来展望は。

町長　農業の担い手確保や農地維持は重要な課題である。新規就農者支援、農地集積、就農相談や研修制度の活用により、持続可能な農業経営を進める。

農業公社の設置は

米田　高知県黒潮町では、町が主体となって農業公社を設立して新規就農者を確保し優良事例となっている。若者を雇用し育成するなどの取組は、生産減少対策として有益だが、町長の所見は。

町長　黒潮町の農業公社は担い手育成や省力化を支える事例と認識している。本町の実情を踏まえ、必要な取組を検討する。



苗の成長が待たれる今滝梨団地

スマート梨団地造成は

米田　耕作放棄地を農業公社が借り上げ「次世代型スマート梨団地」として造成すれば、新規就農者が借金を抱えず、早期に安定経営が行なえると考えるが、町長の所見は。

町長　耕作放棄地の活用やスマート農業技術の導入は重要であり、梨生産団地の整備を進め、新規就農者が入植しやすい環境づくりに取り組む。

あなたの声を町政へ　読者アンケート

所要時間 約1分

「ゆりはま議会だより」をより分かりやすく、読みやすいものにするため、皆さんのご意見を募集します。

また、いただいたご意見は、議会だよりの編集や議会活動などの参考とし、皆さんの声を町政へ届けるために活用していきます。

質　問

- **今号で関心を持った記事**
- **ご意見・ご感想・取りあげてほしいテーマ**

回答方法

QRコードから回答

こちらからご回答ください⇒

お電話でも受け付けております。

湯梨浜町議会事務局
0858（35）5341

皆さんの声やそれを受けた改善内容は、今後の議会だよりでご報告します。

あなたの声、届いています！

「議会だより90号」読者アンケート結果



皆さんの貴重なご意見・ご感想を、ありがとうございました。
いただいた声は、議会だよりの編集や議会活動などの参考とし、
町政へ届けていきます。

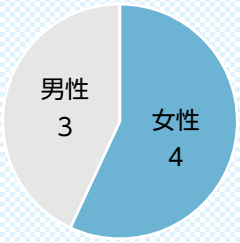
■ アンケートにご協力いただいた方

7人

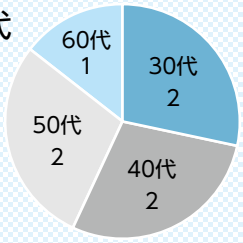
ありがとうございます！

■ ご回答いただいた方の構成

性別



年代



「興味・関心を持った記事」ランキング

（複数回答可）

1	ながせこども園の運営改善を	■■■■■	5票（71.4%）
2	ウオーキングリゾート今後の取組は	■■■	3票（42.9%）
3	水明荘新プランで収益向上へ	■■	2票（28.6%）
	運動公園サッカー場リニューアル	■■	2票（28.6%）
	旧たじりこども園の活用は	■■	2票（28.6%）
	町民インタビュー	■■	2票（28.6%）

アンケートから、2人の声をお聞きしました！

掲載にご協力いただいた方のコメントを紹介します。



VOICE 01

やまね　しんじ
山根　信司さん（60代・羽合）

「町民に愛される居心地のよい温泉へ」

温泉は入浴するだけでなく、半日程度ゆったり過ごせる場所であってほしいです。

大切なのは「居心地の良さ」です。時代に合わせて施設やサービスをアップデートし、町民が「湯梨浜町に温泉があってよかった」と思える施設にしてほしいです。



VOICE 02

すぎもと　かずや
杉本　和也さん（30代・羽合）

「子どもの成長をイメージできる町に」

どこで子育てするかを考えるとき、保育・教育環境やスポ少など、子どもの成長をイメージできることが大切です。

保育士の処遇改善など、本町の子育て環境の良さを伸ばし、積極的に発信してほしいです。

これからも、より分かりやすく、身近に感じていただける議会だよりをめざしていきます。
皆さんの声をお聞かせください。

町民インタビュー

「祭りを次の世代へ」

橋津ふるさとの文化を守る会　会長

松井（まつい）　伸一（しんいち）さん



湊神社例大祭などを開催されている「橋津ふるさとの文化を守る会」会長の松井さんにお話を伺いました。

Q：祭りにどのような思いを持っていますか。

先輩方が長く続けてこられた祭りなので、自分たちの年代で途切れさせてはいけないという思いがあります。中でも花車（だんじり）は一時期途絶えたこともありましたが、約50年前に復活し、現在まで受け継がれています。

若い世代にも経験してもらい、次の世代、その次の世代へと、できるだけ長く続いてほしいです。

今まで受け継がれてきた踊りやかけ声、神輿など、祭りの形を大切に守っていきたいと思っています。

Q：祭りが異世代交流の場になっていることを、どう感じますか。

以前は地区の運動会など、地区住民が一堂に集まる機会がありましたが、今ではそうした機会が少なくなりました。例大祭は、子どもから高齢者まで、多くの地区住民が一堂に集まるほぼ唯一の機会だと感じています。子どもも大人も、それぞれが役割を持って祭りに関わり、世代を超えて顔を合わせることのできる大切な場です。

こうしたつながりも大事にしながら、これからもみんなで力を合わせて祭りを続けていきたいと思っています。



編集後記

暑さにも寒さにも、世界変動にも向き合う行政と議会。思ったよりもたくさんのことに対応しているのだな、と感じたこの１年半。立場は違うものの、住民の皆さんも、行政も議会も、みんな目的は同じ、「住民の幸せ」。多方面の成果が実る秋。豊穣ならんことを！

（記　小泉）

町政の「今」を
動画でお届け！

議会では町政の新しい情報が分かります。気になる情報を見つけてみてください。

スマホでお手軽チェック!

議会の動画はこちらから

発行／鳥取県東伯郡湯梨浜町議会　　編集／議会広報常任委員会　　〒682-0723　鳥取県東伯郡湯梨浜町大字久留19番地1
TEL 0858（35）5341／FAX 0858（35）5342／E-mail:ygikai@yurihama.jp／https://www.yurihama.jp/